



廊下は各保育室につながる。いつでも室内が見えるよう内窓が付いている。



屋根の色はダーク・グリーンに。「木の壁に合って、周りの緑にも溶け込むように、この色にしました」



子供たちのための専用トイレ。



右に玄関、正面にホール。壁際には棚が設けられている。



正面玄関前には緩やかな傾斜のスロープがつく。



宮城県
八乙女らぼむ保育園

2018年4月にログハウスの園舎を建設。グループとしては、6棟目のログハウスの園舎となる。

ログハウスのゆりかごで木の家のような優しさを

「明日も行きたい!」—。目指しているのは、そう思える保育所。思いを託した真新しい園舎は、木の家のような優しさを育んでくれるログハウスのゆりかごだ。

仙台市郊外の住宅地に
ログハウスの保育所

明るい木の壁と緑の屋根、ピョコン!と飛び出るドーマー窓。田舎の学校を思わせるような、牧歌的で、でもどっしりとした外観を見ていると、知らず、知らず、安心安全という言葉が思い浮かんでくる。

ここは、仙台駅から車で20分ほど郊外の住宅地。大きなログハウスは、その一角で、周囲の目を惹き寄せないようにして悠々と佇んでいた。

玄関前で、声をおさえて、「こんにちは...」。

今は、屋下がり。園児たちは、スヤスヤとお昼寝タイムのはずだ。

そう、ここは仙台市の認可保育所「八乙女らぼむ保育園」。木の家は、その園舎というわけだ。

ログハウスが気に入る
今回でなんと6棟目の園舎

「ログハウスがいい」というのは、園のみならず一致していたんです」

木の園舎誕生のいきさつを話してくださるのは園長・木村秀美先生。

ここには、以前は、ごく普通の木造園舎が建っていた。国の制度が変わり認可保育所になるには改築が必要になり、建物の候補として真っ先に上がったのがログハウスだった。

「園の母体グループでは、既にログハウスを3棟建てていたんです」

最初は本園の増築。みんなで5ヶ月かけてセルフレッドした。メーカーは熱意があり、フットワークが軽く、広島から足しげく来てくれた。それが、サエラホーム。すっかり気に入って、その後2棟を建てることに。その1棟は、何を隠そう、本誌2017年秋号に登場した、ろぼっぶ泉中央南園だ。そして、今回、ここを含めて3棟を一緒に建てることになったという。

限られた面積に必要な
間取りを確保するために苦心

では、どんな園舎にしようか? いちばん頭を使ったのは「広さ」のこと。限られた面積に必要な間取りを確保しなければならぬ。

まずは、0歳児から5歳児まで、各年齢用に1つずつ、計6の保育室を備えなければならぬ。そして、ただあればいいというわけではない。

「保育所の施設整備には、国や市の決まりが細かくあるんです」

例えば面積の基準。0歳児から5歳児まで、年齢ごとに1人当たりの面積が厳密に決まっています。部屋が小さいと子供の定員を減らさなければいけなくなる。なるべく多くの子供達を預かることが求められる保育所としては、一番悩ましい問題である。

そして、各室には手洗い場を設置し、乳児室には手洗いと共にトイレも設置する必要がある。また、採光も床面積



2階の天井は高い。収納庫は、各保育室に確保してある。



2階に給食を運ぶため配膳用のエレベーターを設置した。
1階にある3歳児室。子供たちはのびのびと過ごす。
階段上には、落下防止の柵が設置されている。
階段は、幅を広くして滑り止めを付けてもらった。
落ち着いた休憩ができる職員室。

「角があるところは丸くしてもらったり、カーテンをつけたいところを加工してもらったりもしました」
最終盤になると、工事は急ピッチで進められた。何しろ開園日が決まっていること。入園式は4月初めだ。
「遅くまで灯りをつけて、頑張ってくれていることもありました」
そして、引越しが3月末。
「『つわー、広くなってます！』『かわいい！』『木の香りがいい！』なんて言っていて、先生たちは驚いていました。子供達も「えー！ここで遊べるの!」なんて目をまん丸にして、保護者の方々も「あらー、こんなに変わったんですかー!」と感心しきりでした」
稼働が始まり、もうすぐ1年。木の園舎の感触は、すこぶるいい。
「広々している中で、子供たちはのびのびと動き回っています」
そして、なぜか、木のおもちゃを喜ぶようになっていくという。
「今までと違う気持ちになって、木の優しさを感じているようです」
それは、こんな変化としても表れる。「不思議と積極性や自主性が出てきたような気がします。『こういうの作ってみたいよ』とか『これどうするの?』お手伝いしてあげる」なんて言われるんです。今まではなかったことです」
落ち着いた環境での心の充実がそうした成長を促しているのだろうか? ログハウスでの子供たちの変化。園長先生の思いは膨らんでいる。明日子供が「今日も楽しかった! 明日



2歳児の保育室。無垢板の床が気持ちよく広がる。コンセントは、子供が届かない高い位置に設置。



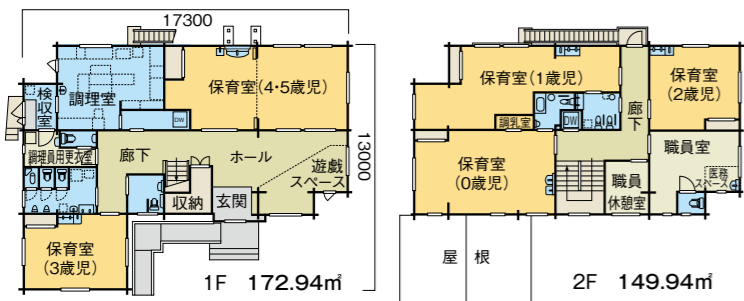
保育室の入り口は全て引き戸にもらった。



0歳児室。窓が多く室内は明るい。丸い窓は子供たちに人気。

KIT HOUSE Type I

キットハウスアイテム:
RX- フリープラン (60分準耐火ログ建築物)



サエラホームのワンポイントアドバイス

2階に保育室があることで、外壁(耐力壁)、間仕切壁(耐力壁)共 60分耐火認定取得済みログ材を使用しています。街中の限られた敷地でも有効にプランニングする事ができ、施主様にも子供たちにも喜んで頂ける建物になったと思います。

も行きたい!」と思える園にしたと思うんです。明るく、楽しいログハウスの園舎で、木の家のような優しさを育んでもらえたらと思います」

木の家のような優しさを育んでもらえたら

旧園舎の解体が始まったのが一昨年の10月、着工が11月のことだ。建築中、園児たちは、近くの仮園舎に一時仮住まい。だんだん家の形が出来てきた頃には、ここまで散歩するのが子供たちの楽しみになった。「『ここに入るの?』『ここにまた来るの?』『スーイー』なんて言いながら、興味津々、見上げていました」園長先生たちは内見もさせてもらった。職人さんたちは、親切に進行状況をこまごまと説明してくれる。

の5分の1以上と決められる。そして、必要なのは保育室だけではない。トイレ、調乳室、調理室、沐浴室、ホール(遊戯室)の他、職員室や園長室、収納庫も要る。さらには、避難経路を確保するため、外階段の設置も必要だ。「『ついつい風に通取りをとるか、サエラさんには随分知恵を絞っていたできました。行き詰まっては、やり直しを重ねて出来上がったのです』その他、使い勝手や安全面についてもこまごまとリクエストした。せつかなので、やはり遊び心も散りばめたい。例えば「丸窓」。道路側から見ると顔に見えるように配されている。それから屋根から飛び出す「ドーマー窓」。前面のルックスをメルヘンチックにしてくれる。